

第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

2-⑩

施策

都市基盤の整備を図り、各地域・地区の活性化と連携を推進する

担当部局

建設局, 教育委員会, 文化産業局

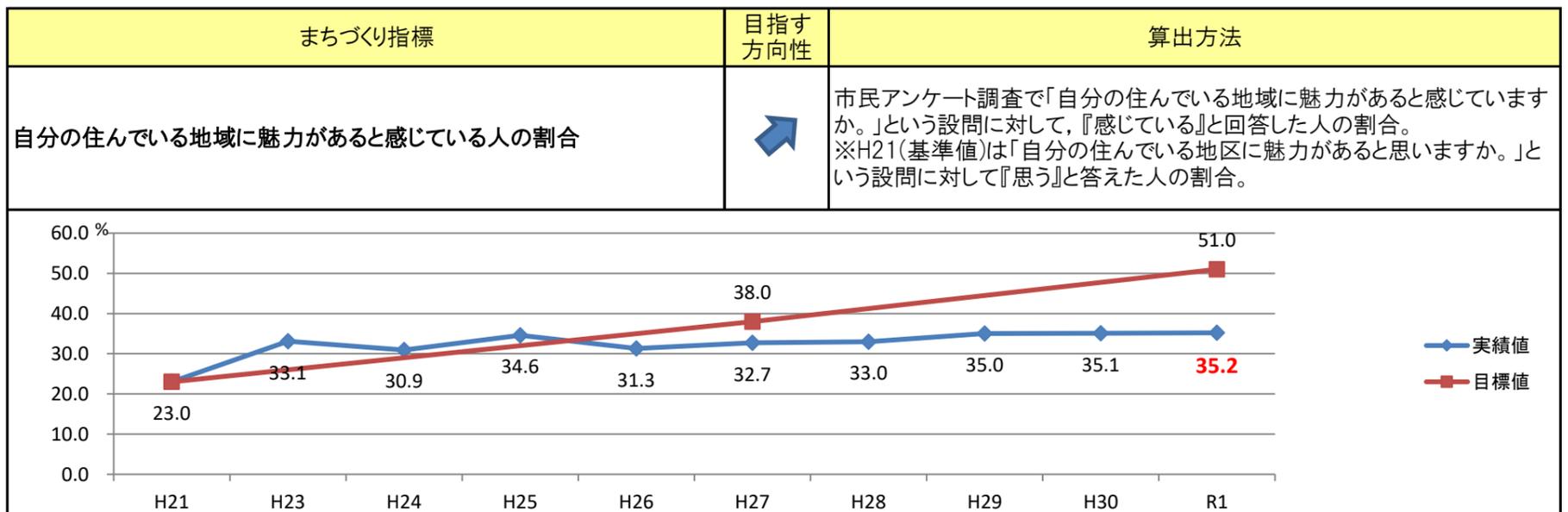
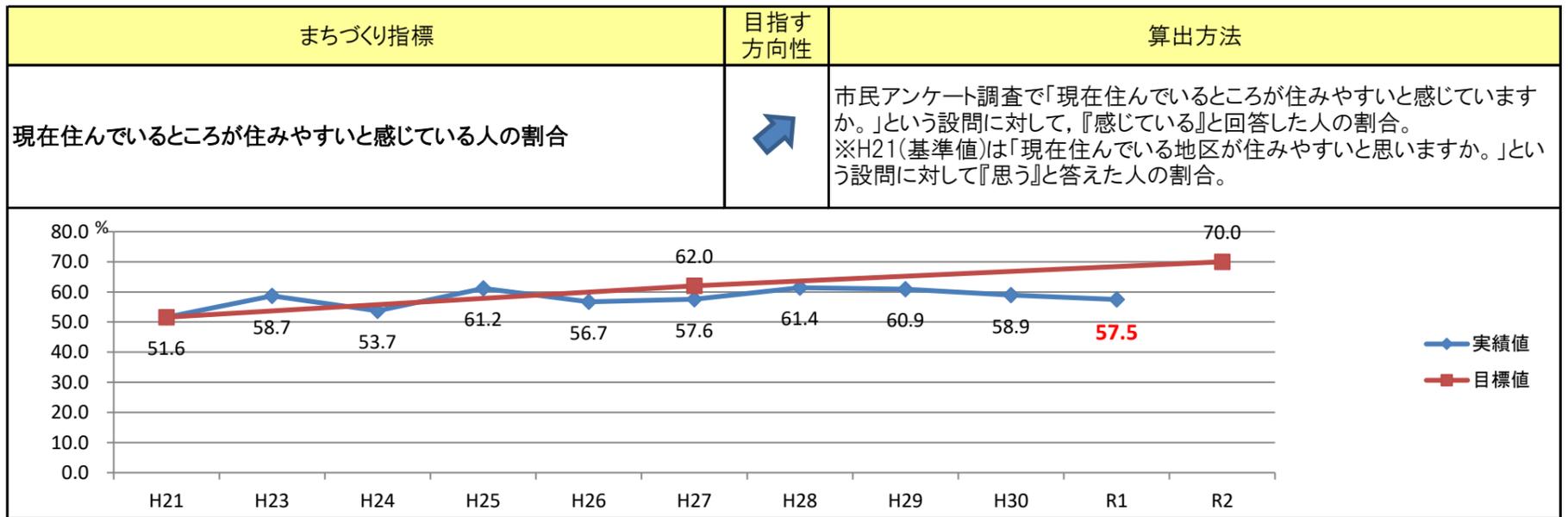
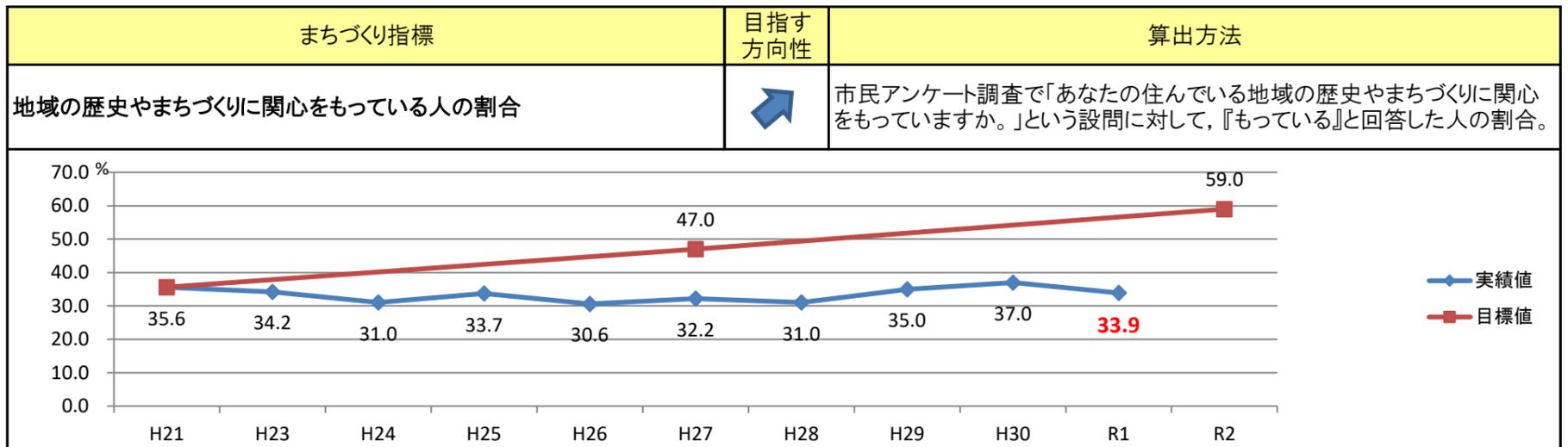


【躍動】 めざまちの姿 特色を生かした各地域の活性化と住民の生活向上が行われている

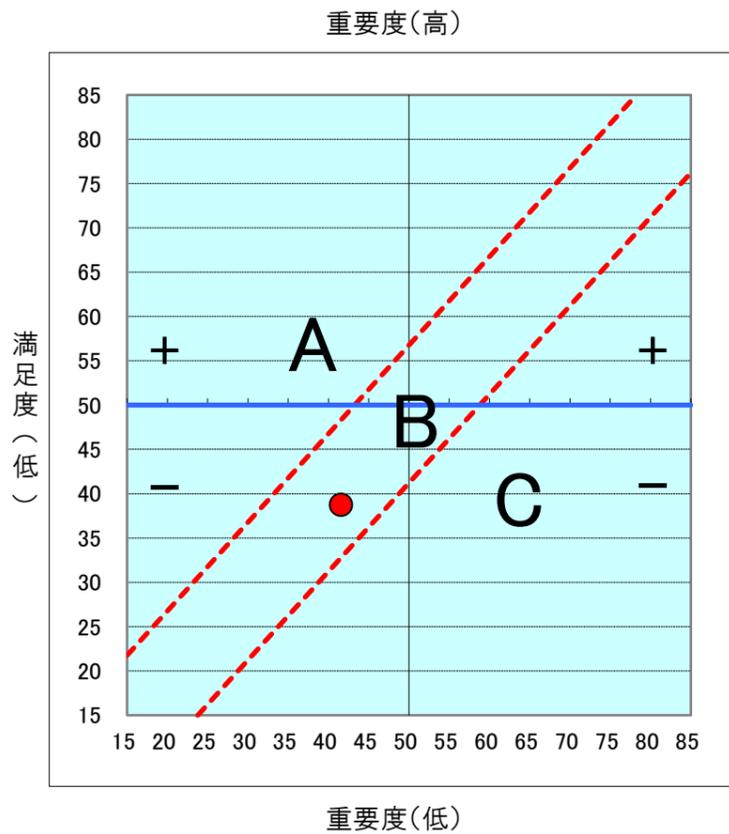
市の基本方針

- 各地域・地区の個性を生かした魅力ある拠点形成を進めるとともに連携を強化し、相互に機能が補完された一体感のある整備を進め、市全体の活性化につなげます。
- 広域幹線道路網整備の促進による結節点の優位性・利便性の向上を図るとともに、地域間の主要幹線道路整備による交流・連携の強化、地域内の幹線道路整備による渋滞緩和や安全な歩行空間の確保を進めます。
- 生活の基本となる住環境整備に向け、身近な道路や橋りょう、公園などの整備・維持管理に努め、安全性と利便性の向上を図ります。また、高齢者向けの優良な賃貸住宅の供給を促進し、ユニバーサルデザインに考慮した市営住宅の建て替えや、既存市営住宅の効率的・効果的な長寿命化を計画的に進めます。

数値目標



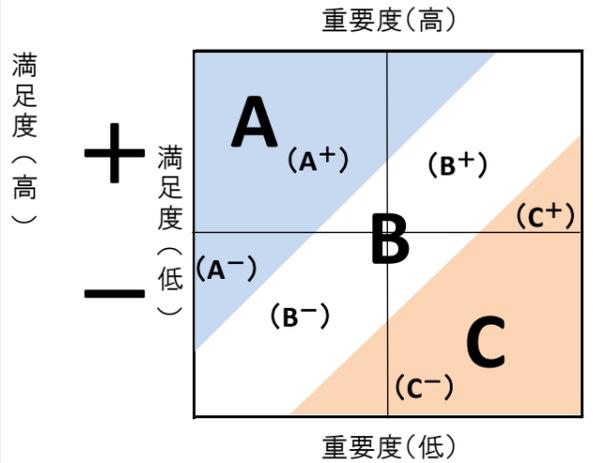
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁻	38.72	41.56

●重要度に見合った満足度が得られている(B)
●重要度が平均値より低い(-)

【グラフの見方】



A:重要度に見合った満足度が得られていない領域
B:重要度に見合った満足度が得られている領域
C:重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)
+:重要度が平均値より高い部分
-:重要度が平均値より低い部分

A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻

A⁺:重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I)/令和元年度の主な実績(II)/今後の方向性(III)	R1年度決算額(千円)
重公創	立地適正化計画策定事業	(I) 公共交通(軸)と連携し、都市・居住機能がコンパクトに集積した都市構造の実現を目指して、都市機能(医療・福祉・商業施設等)誘導区域や居住誘導区域を設定することなど、都市再生特別措置法に規定する立地適正化計画を策定することを目的に実施した。 (II) 都市機能誘導区域や誘導する施設、併せて災害リスクを踏まえた居住誘導区域の設定について検討した。 (III) 継続して実施する。	6,564
重公創	美観地区電線類地中化事業(再掲)	(I) 伝統的な建造物と調和した街並みの景観美を向上させ、更なるにぎわいを創出し、当該エリアの将来にわたる魅力創出を目的として実施した。 (II) 阿知42号線外2線の本体管路及び引込管路埋設工事を推進した。 (III) 継続して実施する。	150,499
公創	町家・古民家で紡ぐ魅力拠点づくりと技術伝承事業	(I) 高梁川流域圏域内の町家・古民家の保存・再生・活用による流域をつなぐ、新たな魅力拠点の創出を図るとともに、町家・古民家の再生活用に必要な技術伝承の仕組みづくりを行う。 (II) 「建築家のしごと展」を5月に実施し、建物単体でなく、面を捉えた建築設計、空間設計の大切さや、魅力を知るためのシンポジウム、ワークショップ、展示会等を展開した。シンポジウム(倉敷市立美術館/約110人)、ワークショップ(倉敷公民館/22人)、路地調査結果・路地設計展示会(日本郷土玩具館蔵、ギャラリー滔々/約500人)、まち歩き(美観地区周辺/約50人)。さらに、災害対応も含めた、町家・古民家を再生する際のマニュアルを作成した。 (III) シンポジウム等を通じて、町家・古民家の所有者や事業者をはじめとした多くの方に、町並み保存の意識付けを行うとともに、町家・古民家の持続的な活用策や災害時の対応を含む保全策を検討する場を提供し、今後も継続して魅力創出に繋がる取組みを実施する。	5,097
創	まちづくり基金事業(再掲)	(I) 「地域の歴史と文化を継承する貴重な街並みを守るとともに、地域の魅力向上、賑わい創出等のまちづくり活動を支援する」ため、平成25年度に倉敷市まちづくり基金を創設。 (II) 町並み保全・創出支援については、倉敷美観地区周辺と水島、玉島エリアにおいて、町家・古民家の再生整備支援を16件行い、修景修理に加え、貸事務所等の機能を備えた施設として町家再生を行ったことによる交流人口の増加や、町家を再生した物販・飲食等の魅力集客拠点・地域交流拠点の創出を支援した。また、まちづくり事業支援については、倉敷美観地区周辺と真備エリアでそれぞれ1件の事業が実施され、公益に資するまちづくり活動を支援した。なお、令和元年度は、倉敷市まちづくり基金事業審査会を3回開催し、20件の補助事業を採択した。 (III) 年3回、基金活用事業の審査会を開催し、市内全域でのまちづくり活動の支援(年10事業以上の支援を目標とする)を行う。また、ホームページ等を活用し、市民に対して本制度の周知を引き続き図っていく。	81,426
	児島のまちづくり(児島駅前地区活性化事業)	(I) 児島駅前地区の空間を活用した賑わい創出イベントを行う。 (II) 児島三白を象徴する灯りで彩るイベント「児島WHITE」で使用するイルミネーションの点検・改修等を行うとともに、樹木の伐採も行い、夜型観光としての受入体制の充実を図った。また、市や児島商工会議所、児島駅前商店街連盟等で組織する「児島駅前「まちづくり推進協議会」を新たに設立した。 (III) 児島駅前「まちづくり推進協議会」を中心に、児島駅前の活性化にふさわしいイベント等を継続して実施する。	1,000

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
創	玉島のまちづくり	(Ⅰ)「町並み保存地区」と「商店街」を活動エリアとして、同地域の個性と魅力である「お茶文化」を活かした賑わい創出及び活力創出となるまちづくりに地域全体で取り組む基盤づくりを行う。 (Ⅱ)「玉島湊まちづくり推進協議会」を中心に、昨年度に策定したまちづくりビジョン案の洗練を行った。また、玉島のお茶文化を紹介する初心者用リーフレットを改訂するとともに、玉島ふるさとふれあい物産展において、点茶体験イベントを開催した。さらに、エリア内においてお茶栽培にも着手するなど、活性化に向けて地区の特色を活かした取組を行った。 (Ⅲ)定期的にまちづくり検討ワークショップ等を実施してビジョンの啓発に努め、玉島湊地区のまちづくりに関心のある市民の更なる参画を求めるとともに、地区のコミュニティ等も巻き込んだエリアの活性化に継続して取り組む。	460
創	水島のまちづくり	(Ⅰ)水島地区の魅力を発揮する新たな地域力を発掘し、賑わいや活力を創出するまちづくり活動をワークショップ等で検討・実践する。 (Ⅱ)昨年度に実施した水島地域力調査の結果を踏まえた「水島まちづくりアイデア」の募集を行い、計13件の応募があった。また、地域の団体や商店街、自治会等が参加するワークショップを計3回開催し、応募アイデアを短期・中期・長期の取組に分類するとともに、今後の取組の方向性をまとめた。 (Ⅲ)ワークショップにおいて、短期で実践できる取組を試行するとともに、水島地区の方々が主体となったまちづくりとなるよう、中長期での取組についても、継続してワークショップで検討していく。	30
公都	新田上富井線ほか幹線整備事業	(Ⅰ)新田上富井線、西阿知矢柄線、矢柄西田線、柏島道越線について、交通渋滞の緩和と道路ネットワーク強化を目的に道路整備を実施した。 (Ⅱ)矢柄西田線において、道路用地を取得した。また、他の路線においても工事を推進した。 (Ⅲ)継続して実施する。	520,399
	公園整備費(施設長寿命化)	(Ⅰ)老朽化等による事故を未然に防ぎ、安全・安心で快適に利用できる公園を維持し、将来における維持管理費の縮減や平準化を目的に公園施設の更新を実施した。 (Ⅱ)鶴新田公園5施設の更新及び種松山公園ほか63公園147施設の補修が完了した。また、酒津公園ほか4公園18施設の更新に着手した。 (Ⅲ)倉敷市公園施設長寿命化計画に基づき、継続して実施する。	43,503
	街区公園整備事業	(Ⅰ)都市における緑とオープンスペースを確保し、快適な市民生活実現のため、住民がもっとも身近に利用できる街区公園を整備するとともに、既設公園の施設の充実と改善を実施する。 (Ⅱ)1公園の用地取得と11公園の施設改善等を行った。 (Ⅲ)継続して実施する。	142,756
	水路新設改良事業	(Ⅰ)倉敷市内の水路について、護岸整備、補修、コンクリート製水路の設置、底打等の改良を農業基盤整備を行うことを目的として実施した。 (Ⅱ)豊洲201号水路ほか41路線の水路改修等を行った。 (Ⅲ)継続して実施する。	288,417
	市営住宅長寿命化維持管理事業	(Ⅰ)倉敷市営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅に対し、計画的な修繕及び改修工事を行い、住宅の延命化と施設の維持管理コストの削減を図る。 (Ⅱ)計画に基づき、外壁塗装修繕、屋上防水修繕などの修繕11件を実施した。 (Ⅲ)継続して実施する。	98,309
公創	航空写真共同撮影事業	(Ⅰ)地理情報システムに搭載する航空写真(オルソ画像)撮影について、事務の合理化、事務費削減を目的に高梁川流域連携事業として実施した。 (Ⅱ)航空写真の撮影を総社市、矢掛町、浅口市、里庄町、笠岡市と連携して行った。 (Ⅲ)継続して実施する(3年に1回のペースで撮影しており、次回は令和4年度に撮影予定)。	62,053